

健康福祉委員会資料

(健康福祉局関係)

1 所管事務の調査（報告）

(2) 公益財団法人川崎市シルバー人材センター「経営改善及び連携・活用に関する方針」の策定について

資料1 経営改善及び連携・活用に関する方針

(平成30(2018)年度～平成33(2021)年度)

平成30年8月24日

健康福祉局

経営改善及び連携・活用に関する方針 (平成30(2018)年度～平成33(2021)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管課	健康福祉局高齢者在宅サービス課 健康福祉局保健所生活衛生課
-----------------	----------------------	------------	----------------------------------

経営改善及び連携・活用に関する方針

法人の施策概要

(1) 法人の事業概要
市内の一般家庭や公共・企業などから高齢者向けの仕事を受注し、これを生きがいや健康のために働きたいという高齢者に就業の場として提供する事業などを行います。また、川崎市葬祭場の指定管理者として管理運営業務を行います。

(2) 法人の設立目的
健康で働く意欲を持つ高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会を確保し、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進並びに社会参加の推進を図り、もって高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与するとともに、あわせて市民サービスの向上に寄与することを目的とします。

(3) 法人のミッション
高齢者のための臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業等を通じて、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進及び社会参加の推進を図るために必要な事業を行います。また、指定管理者として、川崎市が設置する葬祭場を円滑かつ適切に運営します。

本市施策における法人の役割

高齢化の継続的な進展に伴い超高齢社会を迎える中、高齢者がこれまで培ってきた経験、知識を活かして身近な地域の中でいきいきと活動することができるように、生きがいづくりの支援や就労機会の確保など社会活動を促進することが求められています。

こうした状況の中、シルバー人材センターによる働く意欲のある高齢者の就業機会の確保、就業を通じた生きがい・健康づくりの促進、社会参加の場の提供の役割は重要性が増している状況にあります。

また、葬祭場の運営には、施設の用途・特性を踏まえた、公益性・持続性の確保が求められることから、公益財団法人として適切な運営を確保するとともに、施設の管理運営を担うことにより、高齢者を対象とした新たな就業機会の確保を通じ、市民サービスの向上が見込まれています。

		基本政策	施策
法人の取組と関連する計画	市総合計画における位置づけ	誰もが安心して暮らせる地域のつながり・しくみをつくる	高齢者が生きがいを持てる地域づくり
	分野別計画	-	-

現状と課題

シルバー人材センターは、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき国・県・市の協力を得て運営されている公益性・公共性のある公益法人で「自主・自立・共働・共助」の理念のもとに、市内在住の60歳以上の健康で働く意欲のある高齢者が会員として登録し、地域に密着した臨時的かつ短期的またはその他の軽易な作業を家庭、企業、公共団体から引き受け、これを会員に提供することにより、より多くの高齢者が働くことを通じて健康的に生きがいを持って地域に貢献することを目的としています。また、施設の管理運営を担うことにより、高齢者を対象とした新たな事業展開と公益財団法人の特性を活かした安定的な市民サービスの向上を図ります。

今後、超高齢社会、人口減少社会を迎える中、一人でも多くの高齢者が福祉の受け手ではなく、社会の担い手として、長年培ってきた知識と経験を活かし、社会活動に参加できるようにすることが、大きな課題になっています。

葬祭場の運営については、火葬需要の増加に対する的確な葬祭場の管理運営の確立が求められています。また、かわさき北部斎苑については、平成31年度まで大規模改修工事を実施しており、工事期間中という特殊事情を踏まえ、安定的かつ安全面に配慮した運営及び市との緊密な連携が求められています。

取組の方向性

(1) 経営改善項目

- ・センターが企業、一般家庭、行政機関等から臨時的、短期的かつ軽易な作業の委託業務を受けて、登録している高齢者に就業の場を提供するため会員数の増加、就業実人員の増加を図ります。
- ・火葬需要の増加への対応について、かわさき北部斎苑の大規模改修工事に伴う火葬件数の制限について、南北斎苑の連携による受入れ体制の確保や、友引日の開苑実施による火葬受入れの増加を図ります。

(2) 本市における法人との連携・活用

本市及びシルバー人材センター、たいJOBセンター、キャリアサポートかわさきにおいて、それぞれの事業の特性を活かし、高齢者の就労支援に取り組むとともに、定期的に情報交換会を開催し、求人・求職状況の共有化や相談事例の情報交換などを通じて、関係機関相互の連携を図っています。今後も、より一層の連携を図りながら、高齢者の多様な働き方への支援など、就労促進に取り組んでいきます。

かわさき北部斎苑の大規模改修工事実施に伴う安定的な運営体制の確保にあたり、本市、シルバー人材センター・富士建設工業共同体により、定期的な会議を通じ、緊密に連携しながら、運営体制を継続するとともに、大規模改修工事を実施していきます。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管課	健康福祉局高齢者在宅サービス課 健康福祉局保健所生活衛生課
----------	----------------------	-----	----------------------------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画

4カ年計画の目標

川崎市シルバー人材センター「第2期基本計画(平成27年～平成31年度)」に沿って、事業の充実と発展を図るとともに、事業の拡大と適正就業の推進のための事務局体制の強化や、新たに南・中・北部事務所での会員登録相談窓口の開設を行い、機動的かつ効果的な事務局体制の推進を図ります。また、シルバー人材センターの認知度を高めるための様々な取り組みを行い、多くの市民や事業所等にシルバー人材センター事業に対する理解を得ながら、会員増強と事業実績拡大を図ります。

葬祭場の運営については、火葬需要の増大に対応するため、夏期・冬期の友引日開苑を含め火葬業務を着実に実施します。また、かわさき北部斎苑について、大規模改修工事期間中の安定的かつ安全面に配慮した運営に向け、市と緊密に連携しながら適切な対応を図ります。

本市施策推進に向けた事業計画

取組No.	事業名	指標	現状値	目標値				
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	単位
①	シルバー人材センター受託事業	シルバー人材センター登録者数	5,081	5,250	5,500	5,750	6,000	人
		シルバー人材センターを通じて、仕事に就いた高齢者の数	2,348	2,510	2,520	2,535	2,550	人
		事業別の行政サービスコスト	24,551	16,984	16,800	16,700	16,600	千円
②	川崎市葬祭場管理運営事業	火葬件数の確保	10,324	10,300	10,300	12,000	12,000	件
		市との連絡調整会議開催数	12	12	12	12	12	回
		苦情件数	12	12	12	6	6	件
		事業別の行政サービスコスト	175,166	198,822	204,828	204,828	204,828	千円

経営健全化に向けた事業計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値				
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	単位
①	契約高の向上による財務状況の改善	契約金額	1,261,805	1,290,000	1,320,000	1,350,000	1,380,000	千円

業務・組織に関わる計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値				
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	単位
①	業務の能率向上	職員の研修参加件数	6	5	5	5	5	件
	業務の能率向上	関係機関会議出席件数	22	25	25	25	25	件
②	適正な指定管理業務の運営	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	0	件
③	効率的・効果的な施設運営に向けた法人内の連携	斎苑連絡会議の開催数	12	12	12	12	12	回

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管課	健康福祉局高齢者在宅サービス課 健康福祉局保健所生活衛生課
----------	----------------------	-----	----------------------------------

2. 本市施策推進に向けた事業計画①

事業名		シルバー人材センター受託事業						
指標		①シルバー人材センター登録者数、②シルバー人材センターを通じて、仕事に就いた高齢者の数						
現状		<ul style="list-style-type: none"> ・粗入会率を上げ、一般に事業の啓発を図るためには登録会員数の増加が必要です。 ・今後もより多くの会員に仕事を提供し、高齢者の生きがいを高め、就業機会の確保を図ることが必要です。 						
行動計画		<ul style="list-style-type: none"> ・会員募集の広報活動として、市広報掲示板など各種広報媒体への記事の掲載等を充実させ、更に効果的な広報を検証し新規入会会員を獲得します。 ・就業機会創出活動による受注拡大、会員募集活動による登録会員数の増加、会員組織の活用による事務処理の効率化を図り、就業実人員数の増加を図る体制を整えます。 						
スケジュール		現状値		目標値			単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	シルバー人材センター登録者数	5,081	5,250	5,500	5,750	6,000	人
	説明	シルバー人材センターに登録した会員数						
	2	シルバー人材センターを通じて、仕事に就いた高齢者の数	2,348	2,510	2,520	2,535	2,550	人
	説明	シルバー人材センターの就業実人員						
	3	事業別の行政サービスコスト	24,551	16,984	16,800	16,700	16,600	千円
	説明	直接事業費－直接自己収入						

本市施策推進に向けた事業計画②

事業名	川崎市葬祭場管理運営事業
指標	①火葬件数の確保、②市との連絡調整会議の開催、③苦情件数
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者人口の増加に伴う火葬需要の増大への対応が求められています。 ・家族葬の増加など葬儀形態の変化に伴う多様なニーズへの対応が求められています。 ・かわさき北部斎苑の大規模改修工事に伴う運営について、安全性を確保したうえで、安定的な運営が求められています。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期、冬期の火葬需要が増加する時期において、友引日開苑を実施することで火葬需要への対応を図ります。 ・市と連絡調整会議を定期的に行い、情報の共有を行い、苦情・要望等の課題解決に向けた取り組みを推進します。

スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	火葬件数の確保	10,324	10,300	10,300	12,000	12,000	件
	説明	南北両斎苑での火葬を安定的に実施します。火葬需要の増加への対応に向け、北部斎苑改修工事後は件数の増加を図ります。						
	2	市との連絡調整会議開催数	12	12	12	12	12	回
	説明	毎月1回川崎市と共同体との連絡調整会議を開催することで情報共有を図り、課題解決に向けた調整を行います。						
3	苦情件数	12	12	12	6	6	件	
説明	利用者に対して的確かつ丁寧な対応を心掛けることで、苦情の件数を最小限に抑える。							
4	事業別の行政サービスコスト	175,166	198,822	204,828	204,828	204,828	千円	
説明	直接事業費－直接自己収入							

3. 経営健全化に向けた計画

項目名		契約高の向上による財務状況の改善						
指標		契約金額						
現状		公共系、企業系の大口の顧客を獲得することにより契約金額が伸びる傾向があるため、多くの登録会員を就業させるための大口契約の受注拡大を図り、財源確保に努める必要があります。						
行動計画		就業機会創出活動、会員募集を効果的に行い、受注件数と登録会員数を増加させることで契約金額の増につなげます。						
スケジュール		現状値		目標値				
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位	
指標	1	契約金額	1,261,805	1,290,000	1,320,000	1,350,000	1,380,000	千円
	説明	シルバー人材センターが受注した契約金額						

4. 業務・組織に関する計画①

項目名		業務の能率向上						
指標		①職員の研修参加件数、②関係機関会議出席件数						
現状		事業の拡大と適正就業の推進のための事務局体制の強化には職員のスキルアップが必要不可欠です。また、関係機関との会議に出席し、常に最新の情報を確保することで、職員の知識の向上や効率的な事業展開に寄与できると考えます。						
行動計画		より効率的な事業推進体制の強化を構築するため、内外問わず開催される関係機関の職員研修に参加し、個々のスキルアップを図ります。 また、関係機関等への会議に積極的に参加し、知り得た情報を法人で共有し、業務拡大に役立てます。						
スケジュール		現状値		目標値				
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位	
指標	1	職員の研修参加件数	6	5	5	5	5	件
		説明						
	2	関係機関会議出席件数	22	25	25	25	25	件
		説明						

業務・組織に関する計画②

項目名		適正な指定管理業務の運営						
指標		コンプライアンスに反する事案の発生件数						
現状		葬祭場の管理運営に関する協定書に基づき、コンプライアンスを遵守し適切に施設の運営管理を行っています。						
行動計画		公の施設の指定管理者として、南北斎苑施設の管理・運営を行うに当たり、法令順守を前提として公務に従事しているという高い倫理観を持ち合わせた上で、真摯に業務を遂行します。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	0	件
	説明	コンプライアンスに反する事案の発生件数						

業務・組織に関する計画③

項目名		効率的・効果的な施設運営に向けた法人内の連携						
指標		斎苑連絡会議の開催数						
現状		高齢化による火葬需要の増加や葬儀形態の多様化により、火葬件数増加への対応や多様化する葬祭場利用者のニーズに対して、各斎苑とも少人数にて適切に施設の管理運営を行っております。						
行動計画		斎苑連絡会の定期開催により法人内の連携強化を図ります。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	斎苑連絡会議の開催数	12	12	12	12	12	回
	説明	法人本部、各斎苑職員による連絡会議の定期開催により情報共有・課題対応等の検討を行います。						

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管課	健康福祉局高齢者在宅サービス課 健康福祉局保健所生活衛生課
----------	----------------------	-----	----------------------------------

(参考)本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画に設定する指標一覧

本市施策推進に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値		目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度		
①シルバー人材センター受託事業					
1	シルバー人材センター登録者数 算出方法 【現状値】平成29年度実績 【目標値】年間250人増	シルバー人材センターの認知度を向上させる取組を推進し、登録者数を増大することにより、高齢者の生きがいづくりに係る取組の成果を測ります。	5,081人	6,000人	【過去4年間の登録者数】 H26 6,605人 H27 5,526人 H28 4,744人 H29 5,081人 H28年の実績値4,744人に第2期基本計画策定時の毎年度増加数の目標値250人(毎月約21人)を加えた5,000人をH29年度の目標値と定めた上で、以降、毎年度250人の増を見込み算出。
2	シルバー人材センターを通じて仕事に就いた高齢者の数 算出方法 【現状値】平成29年度実績 【目標値】H29年度見込値から年間10～15人増	高齢者の就労が、生きがいにつながることから、シルバー人材センターに登録し、仕事に就く高齢者の就労状況を把握することにより、高齢者の生きがいづくりに係る取組の成果を測ります。	2,348人	2,550人	【過去4年間の登録者数】 H26 2,482人 H27 2,566人 H28 2,480人 H29 2,348人 本市総合計画第2期実施計画策定時において、H28年度実績からH29年度の目標値を2,500人と定めた上で、毎年度10～15人の増を見込み算出。
3	事業別の行政サービスコスト 算出方法 【現状値】平成29年度決算額 【目標値】見込額	【直接事業費－直接自己収入】	24,551千円	16,600千円	【過去4年間の実績】 H26 14,318千円 H27 16,753千円 H28 16,788千円 H29 24,551千円 過去4年間の平均値18,103千円及びH30年度予算における目標値16,984千円からH33年度の目標値を算出。
②川崎市葬祭場管理運営事業					
1	火葬件数の確保 算出方法 【現状値】平成29年度実績 【目標値】2施設×22件×305日×90%	火葬需要の増加に対応するため、北部斎苑の大規模改修工事を踏まえ火葬受入枠の拡充を図ります。	10,324件(件/年)	12,000件(件/年)	かわさき南部斎苑・かわさき北部斎苑ともに、22件/日の受入れ枠を上限に火葬を執り行います。平成30年、31年度は北部斎苑の大規模改修工事により、上限値を下方修正します。
2	市との連絡調整会議開催数 算出方法 【現状値】平成29年度実績 【目標値】月1回の定期開催を継続する	川崎市と共同体との連絡調整会議の定期開催により情報共有を図り、課題解決に向けた調整を行います。	12回	12回	斎苑連絡会議の定期的な会議開催により、十分な調整を行っていきます。(参考: H26-H29平均12回)
3	苦情件数 算出方法 【現状値】平成29年度計画値 【目標値】北部斎苑大規模改修後は、両斎苑併せて苦情件数を改修工事前の半数程度に抑える	南北両斎苑職員が的確かつ丁寧な対応を心掛けることで、利用者満足度の向上を図ります。	12件	6件	かわさき北部斎苑の大規模改修工事においても最小限の苦情に抑えけるとともに、改修工事後はより苦情件数を減らせるよう的確かつ丁寧な対応を心掛けます。(参考: H26-H29平均4回※小数点以下切り上げ)

4	事業別の行政サービスコスト				総合計画における葬祭場指定管理委託料より、売店業務に係る施設管理協力を差し引いた金額にて算出しています。 平成30年度 198,822千円 平成31年度～33年度 204,828千円
	算出方法 【現状値】平成29年度決算額 【目標値】見込額	【直接事業費－直接自己収入】 葬祭場管理運営委託料－施設管理協力金	175,166千円	204,828千円	
経営健全化に向けた事業計画					
指標		指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
			平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	
①契約高の向上による財務状況の改善					
1	契約金額	適正就業推進による公共、企業の契約の終了や一部の労働者派遣事業への移行などから請負事業の契約金額が減少している中、受注件数を拡大させるため、広報活動の見直しや、需要の多い職種への就業開拓を強化するとともに、公共、企業等へも引き続き啓発活動を実施します。	1,261,805千円	1,380,000千円	【過去4年間の実績】(百万円) H26 1,302 H27 1,366 H28 1,360 H29 1,262 シルバー人材センター第2期基本計画・中間年見直しの結果を踏まえ、第2期基本計画策定数値である毎年度32,000千円から7.1ポイント減の毎年度約30,000千円の増を見込んで算出。
	算出方法 【現状値】平成29年度実績 【目標値】年間30,000千円の増				
業務・組織に関わる計画					
指標		指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
			平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	
①業務の能率向上					
1	職員の研修参加件数	事業の拡大と適正就業の推進のための事務局体制の強化には職員のスキルアップが必要不可欠です。また、関係機関との会議に出席し、常に最新の情報を確保することで、職員の知識の向上や効率的な事業展開に寄与できると考えます。	6件	5件	職員のスキルアップに伴う研修会参加件数を平成29年度の実績に基づき算出。(平成29年度は、新任研修を実施したため、例年よりも件数が多くなっています。) (参考：H26-H29平均5.5件)
	算出方法 職員の研修参加件数				
2	関係機関会議出席件数	事業の拡大と適正就業の推進のための事務局体制の強化には職員のスキルアップが必要不可欠です。また、関係機関との会議に出席し、常に最新の情報を確保することで、職員の知識の向上や効率的な事業展開に寄与できると考えます。	22件	25件	市及び関係機関との会議等の出席数を平成29年度の実績に基づき算出。 (参考：H26-H29平均19件)
	算出方法 関係機関会議出席件数				
②適正な指定管理者業務の運営					
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	公の施設の指定管理者として、葬祭場の管理・運営を行うに当たり、法令順守を前提として公務に従事しているという高い倫理観を持ち合わせた上で、真摯に業務を遂行していきます。	0件	0件	指定管理協定書に基づき、コンプライアンスに遵守し、適切に公の施設を運営します。 (参考：H26-H29実績0件)
	算出方法 コンプライアンス違反件数				
③効率的・効果的な施設運営に向けた法人内の連携					
1	斎苑連絡会議の開催数	法人本部、各斎苑職員による連絡会議の定期開催により情報共有・課題対応等の検討を行います。	12回	12回	平成29年度の実績に基づき算出。 (参考：H26-H29平均12回)
	算出方法 斎苑連絡会議の開催数				

資金計画表

[平成30年度～平成33年度]

法人名: (公財)川崎市シルバー人材センター

(単位:千円)

項目			決算	予算	計画		
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
経常収支	収入	受託事業収入	1,261,805	1,295,000	1,320,000	1,345,000	1,380,000
		補助金収入(市)	50,019	47,736	47,736	47,736	47,736
		補助金収入(国)	20,256	25,472	26,000	26,000	26,000
		会員登録手数料収入	473	1,000	1,000	1,000	1,000
		基本財産運用収入	55	60	60	60	60
		特定資産運用収入	12	72	72	72	72
		葬祭場運営事業	177,400	203,568	205,000	205,000	205,000
		労働者派遣事業等受託収入	7,074	5,000	5,000	5,000	5,000
		寄付金収入	0	1	1	1	1
		雑収入	10	5	5	5	5
		営業債権等増減額	10,487	0	0	0	0
	経常収入合計		1,527,591	1,577,914	1,604,874	1,629,874	1,664,874
	支出	事業費	1,489,335	1,547,025	1,573,874	1,597,874	1,631,874
		管理費	34,735	35,889	36,000	37,000	38,000
		営業債務等増減額	3,564	0	0	0	0
減価償却費(△)		△ 4,019	0	0	0	0	
経常支出合計		1,523,615	1,582,914	1,609,874	1,634,874	1,669,874	
経常収支			3,976	△ 5,000	△ 5,000	△ 5,000	△ 5,000
投資収支	固定資産取得支出	0	0	0	0	0	
	固定資産売却収入	0	0	0	0	0	
	シルバー事業運営資金取崩収入	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
	投資等収支		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
財務収支	借入れによる収入	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	
	借入金償還による支出	△ 90,000	△ 90,000	△ 90,000	△ 90,000	△ 90,000	
	利息/配当金の支払						
	財務収支		0	0	0	0	0
現金預金増加高			8,976	0	0	0	0
期首現金預金			125,693	134,669	134,669	134,669	134,669
期末現金預金			134,669	134,669	134,669	134,669	134,669